


平成29年度 産業建設部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
<p style="text-align: center;">産業建設部長 難波 利光</p> 	<p>●使命 私たち産業建設部は、インフラ整備を進めることで安全で快適な生活空間の創出を目指します。また、市の魅力を伝えるための情報発信事業を推進し、併せて地域の産業が持続的に発展できるよう施策を展開することで、活性化を積極的に進めます。</p> <p>●基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①河川、高潮、住宅の耐震化等の防災対策事業を計画的に実施します。 ②生活道路等の年次的な整備を促進します。 ③JR駅前整備計画の実現に向け、事業を促進します ④錦海湾堤防、錦海排水ポンプ等公共施設の管理責任を果たすとともに、安全で円滑な事業実施を図ります。 ⑤地域産業の活性化を図るため創業者支援、企業誘致を促進します。 ⑥地域特産品の開発及びブランド化、農林水産物等の販路拡大など農林水産業の基盤整備を推進します。 ⑦有害鳥獣による農作物への被害を抑えるため、積極的に事業を進めていきます。 ⑧魅力ある観光資源を活かしながら情報発信を行うことで、観光客の誘致に努め、併せて市の知名度向上につなげていきます。 ⑨訪日外国人の増加が見込まれる中、インバウンド対策に取り組んでいきます。 	所管課	建設課・産業振興課・観光課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			33人	5人	38人
		一般会計	2,917,829 千円		
		特別会計	432,869 千円		
		計	3,350,698 千円		
(うち人件費)	(239,416 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>道路施設、港湾施設、住宅の老朽化対策の推進及び高潮の防災対策の推進</p> <p>道路管理者として、道路を常時良好な状態に保つように維持、修繕することが法令化されたことを受け、5年に1回、橋梁点検を実施し健全性の診断を行い、適正な管理を進めます。</p> <p>港湾施設も老朽化が進行していることから、必要な機能を維持しつつ、将来の更新コストの平準化を図るため、長寿命化計画を策定し、適正な管理を進めます。</p> <p>住宅についても、住宅耐震診断・補強計画、耐震工事を広報紙等による周知により事業推進し、災害の未然防止や被害の軽減を図ります。</p> <p>沿岸部において、台風時等の高潮対策で問題となっている内水排除について、排水施設の適正化検討を行い、防災対策を進めます。</p>	<p>市道の橋梁 581 橋について、平成 26 年度から 30 年度の 5 カ年で計画的に法令点検を実施しており、これまでに 262 橋を点検済みです。今年度も引き続き 160 橋について法令点検を実施します。</p> <p>市が管理する7つの港湾の長寿命化計画を策定します。</p> <p>住宅の耐震診断、補強計画、補強工事に対する補助金を交付します。 (木造住宅) 耐震診断19件 補強計画10件 補強工事5件</p> <p>現在、仮設ポンプを設置している箇所とこれまでに台風等による浸水被害があった箇所について、事業化に向けた検討を実施します。</p>	<p>160橋の法定点検について発注済み。 現在点検中。</p> <p>7つの港湾の長寿命化計画について発注済み。 現在計画策定中。</p> <p>実績 (木造住宅) 耐震診断 3件 補強計画 2件 補強工事 0件</p> <p>9月17日の台風18号の仮設ポンプの稼働状況と浸水被害の状況について、資料を整理中。</p>	<p>161橋の法定点検が完了しました。</p> <p>長寿命化計画の結果を取りまとめ中。</p> <p>実績 (木造住宅) 耐震診断 3件 補強計画 2件 補強工事 0件</p> <p>台風18号の降雨は10～15年確率の降雨強度であり、ポンプだけによる完全な内水排除は困難であるが、当面は浸水被害低減のため仮設ポンプを増やすことで対応する方針。</p>	<p>161橋の法定点検が完了しました。</p> <p>7つの港湾の長寿命化計画の策定が完了しました。</p> <p>実績 (木造住宅) 耐震診断 3件 補強計画 4件 補強工事 1件</p> <p>浸水被害個所を中心に仮設ポンプの設置台数を増やし、被害低減に努めます。</p>

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	生活道路等の整備	地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路の維持補修や改修整備などを促進し、安全安心な地域づくりを推進していきます。また、まちづくりに必要な道路の整備を進めます。	生活道路改良工事では、舗装、修繕を含め20路線を実施します。 生活道路維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率60%以上を目指します。 用水路等の転落事故防止対策のため、防護柵等の安全施設を500m実施します。	15路線の工事発注を行い、10路線が工事完了。 要望件数172件に対し69件対応し実施率40%。 防護柵設置工事として安全施設535m発注済み。現在施工中。	38路線の工事発注を行い、15路線が工事完了。 要望件数231件に対し94件対応し実施率41%。 防護柵設置工事として安全施設807mの工事発注を行い、535mが工事完了。	35路線の工事が完了しました。 要望件数280件に対し141件対応し実施率50%でした。 防護柵設置工事として安全施設807mの工事が完了しました。
	JR駅前等整備事業の推進	市内に3駅あるJR駅前等整備計画の実現にむけて、関係者等と調整、事業の推進を図ります。	JR西日本と協力しながら、整備条件等について調整を行います。 整備計画について、関係者と調整し、現地を用地測量したのち、詳細設計を行い、最終の駅前等整備の仕様を決定するなど、工事発注の準備を行います。	現地測量、設計、用地測量を発注済み。現地測量は完成。設計、用地測量を実施中。 用地交渉は地権者と会えず交渉が停滞しています。	用地交渉をほぼ完了し、設計に反映させ業務を実施中。業務工程としては少し遅れています。	一部の用地交渉が難航し設計変更が生じています。設計業務は繰越となりましたが、引続き早期工事着工できるよう、用地交渉と設計を進めていきます。
3						

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
4 錦海塩田跡地の適正な維持管理及び跡地活用事業の円滑な推進	跡地の水質検査を継続的に実施し、状況を監視します。排水ポンプを適正に維持管理し、降雨時に適切に排水ポンプを稼働し、周辺地域の浸水を防止します。事業者が施工する工事については、監督処分権限を有する県と連携して、安全安心で円滑な実施を図ります。	水質等の検査結果については、引き続き、地元関係者へ周知します。年間を通じて適正な維持管理を実施し、災害等を未然に防止します。老朽施設については、計画的に撤去します。年間を通じて、住民生活に影響のないよう工事の安全性を確保し、円滑な実施を図ります。	水質検査の結果を関係者に周知、水質に異常はなし。6月に排水ポンプの点検を実施、適切に排水ポンプを稼働しました。倉庫の撤去工事の入札を、10月に実施予定。県が6月に梅雨期の保安管理及び安全対策に係る現地調査を実施、市も調査に同行しました。	水質検査の結果を関係者に周知、水質に異常はなし。排水ポンプを適切に稼働し、台風による周辺地域の浸水を防止しました。排水ポンプ管理棟が、10月に完成しました。県が12月に年末年始休業期間中の現場保安管理及び安全対策に係る現地調査を実施、市も調査に同行しました。	水質検査の結果を地元関係者に周知、水質に異常はありませんでした。排水ポンプを適切に稼働し、周辺地域の浸水を防止しました。排水ポンプ管理棟が10月に完成し、市道錦海師楽線の整備のため、倉庫2棟を解体撤去しました。太陽光発電所の建設工事は3月で完了、試運転等の後、平成30年秋に運転が開始されます。
5 商工業等の活性化	地元消費の拡大及び地域経済の活性化を図ります。また、創業者等に対する支援を強化します。	創業支援事業計画に基づき、瀬戸内市商工会、岡山県産業振興財団、金融機関との連携による創業支援件数149件及び創業件数18件。 (各連携機関合計数値) 利子補給制度等の適正な執行による中小企業の支援。	創業支援事業計画に基づき、10、11月に備前市及び和気町との共催による創業塾を実施予定。 利子補給半期分56件実施。	創業塾を開催しました。瀬戸内市参加人数17人。 設備資金利子補給及びマル経資金利子補給は3月に実施予定。	創業奨励金を10件交付しました。瀬戸内市商工会、岡山県産業振興財団、金融機関との連携による創業支援を86件実施し、21件が創業しました。 設備資金利子補給半期分65件を実施し、年間合計121件を実施しました。マル経資金利子補給全期分49件を実施しました。

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
6	企業誘致の促進	地域活性化策として、工業団地の整備及び優良企業誘致活動を推進します。	<p>豆田工業団地の造成工事完了。</p> <p>優良企業の誘致に向けた方策の検討及び情報収集の実施。</p>	<p>豆田工業団地の造成工事進捗状況80%</p> <p>企業誘致の相談件数2件</p>	<p>最終の造成工事を発注しました。来春完成を目指します。</p>	<p>豆田工業団地は平成30年度造成完了に向けて工事進行中です。</p> <p>今後、農村産業法に基づく地区指定等に向けて、情報収集等を実施します。</p>
7	農業をはじめとした地域産業の活性化	市内の耕作放棄地を復旧するとともに、新規就農者の確保とその支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫事業等を活用し、耕作放棄地の年間活用面積を5ha増加。 ・関係機関との連携による、技術取得のための研修、就農後の経営支援等の実施。 ・瀬戸内市振興公社等関係機関と連携したブランド化に向けた取組による農林水産業等の活性化。 	<p>農業委員会との連携により市内農用地利用状況調査を8月から9月にかけて実施しました。</p> <p>新規就農者1名を認定しました。</p> <p>瀬戸内市産農産物のブランド化に向けてイベントへの出展及び準備等を行いました。</p>	<p>農業委員会との連携により市内農地の利用状況調査を実施し、3.2haの遊休農地の再生を確認しました。</p> <p>新規就農者3名を認定しました。</p> <p>10月29日開催の「セトフェス」(市観光課主催)に11社が出展しました。</p> <p>11月19日開催の「おかやま秋の地産地消マルシェ」(岡山市農林水産課主催)に4社が出展しました。</p>	<p>耕作放棄地対策の一環として中山間地域等直接支払制度の対象面積の拡大調査等を実施。</p> <p>青年就農給付金受給者に対して現地確認と共に経営指導を実施(計12名)。</p> <p>岡山県地域産業資源の一つに瀬戸内市の「レモン」が追加。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
<p data-bbox="197 164 434 228">有害鳥獣被害対策の推進</p> <p data-bbox="136 788 159 820">8</p>	<p data-bbox="461 164 904 308">有害鳥獣対策室の設置により、近年被害が増加している鳥獣被害の防止を図るための対策を強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="931 164 1299 228">・瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会、実施隊の運営 <li data-bbox="931 427 1299 491">・捕獲強化（捕獲推進機器の導入） <li data-bbox="931 539 1299 603">・防護柵設置（単市個別柵および単県集落柵の実施） <li data-bbox="931 651 1299 794">・地域で取り組む鳥獣害対策の推進（地域おこし協力隊の配置と育成、セミナー開催等） 	<p data-bbox="1326 164 1585 339">6 月に協議会総会を開催して本年度の活動計画や予算案を具体化しました。</p> <p data-bbox="1326 539 1491 603">個別柵 82 件 集落柵 3 件</p> <p data-bbox="1326 651 1585 866">7 月から鳥獣被害防止対策活動に従事する地域おこし協力隊員 1 名採用セミナー開催準備を行いました。</p>	<p data-bbox="1612 164 1872 308">2 月に 3 地区（牛窓、邑久長船）で開催する協議会主催のセミナーを準備中。</p> <p data-bbox="1612 427 1872 459">捕獲箱を 3 基導入。</p> <p data-bbox="1612 539 1778 603">個別柵 120 件 集落柵 3 件</p> <p data-bbox="1612 651 1872 866">地域で管理する捕獲檻による捕獲駆除の実施および集落柵検討のための地域等への説明会の実施（7カ所）</p>	<p data-bbox="1895 164 2154 379">3 地区（牛窓、邑久、長船）において、鳥獣セミナーを実施。また、併せてヌートリア捕獲従事者講習を実施</p> <p data-bbox="1895 427 2154 491">地域で管理する捕獲檻を 2 基設置</p> <p data-bbox="1895 539 2154 603">個人柵 126 件（累計） 集落柵 3 件（累計）</p> <p data-bbox="1895 651 2154 826">猟期中のシカイノシシにかかる捕獲強化（8 千円/頭の補助）。 シカ 79 頭 イノシシ 196 頭</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
9	魅力ある観光資源の活用による観光客の誘致	<p>観光資源の再発見や磨き上げ、情報発信に取り組むことで、観光客の増加と市の知名度の向上を図ります。</p> <p>①地域間交流による活性化を図ることを目的として全国で開催されている「北前船寄港地フォーラム in おかやま」を岡山市、倉敷市、玉野市と共同開催し、多くの集客交流が見込まれる講演会等のイベントを通して市のPRを実施します。</p> <p>また、「Kirei なモノ、コト、トコ発見・発信事業」の実施により、地域資源を活かした商品開発や周遊企画等、観光商品化を進め、誘客の促進を図ります。</p> <p>・目標入込客数：800,000人</p> <p>②観光客数の増加に向けた取り組みとして、長浜オリーブ公園公衆トイレ下水道接続工事、牛窓海遊文化館だんじり展示室エアコン取替修繕工事を実施します</p>	<p>①7/14・15に岡山市・倉敷市・玉野市と協働して北前船寄港地フォーラムを開催しました。15日には現地視察、シンポジウムを市内で開催し、北前船寄港地や旅行業界団体などから約240名の参加があり、市の観光資源を効果的に周知することができました。</p> <p>「Kirei なモノ、コト、トコ発見・発信事業」は、市内各種団体と実行委員会を組織して進めています。ステージ出演者、マルシェ出店者を決定し、公式HPや地域情報誌、FM岡山などのメディアでPRを行っています。</p> <p>②長浜オリーブ公園公衆トイレ下水道接続工事、牛窓海遊文化館だんじり展示室エアコン取替修繕工事の設計業者を決定したところです。</p>	<p>①「Kirei なモノ、コト、トコ発見・発信事業」では、ロケ映画を活かしたイベントを10/29に開催しました。当日は台風接近の影響で降雨中の開催となりましたが、多くの来場者があり、当市の魅力を体感していただくことができました。またイベントの前後にもFM岡山などのメディアを活用したPRなど、地域情報の発信ができました。</p> <p>②長浜オリーブ公園トイレ下水道接続工事は、施工業者が決定し2月から工事を開始します。牛窓海遊文化館だんじり展示室のエアコンは、本年度は</p>	<p>①「北前船寄港地フォーラム」については、全国の北前船寄港地から多くの市町村関係者、旅行業関係者等に瀬戸内市を訪れていただき、当市の観光資源について、効果的な周知が図れました。また、Kirei なモノ、コト、トコ発見・発信事業では、イベントの参加者やラジオのリスナー等にも当市のPRができ、両事業とも効果的な地域情報の発信が行えました。</p> <p>②長浜オリーブ公園トイレ下水道接続工事は完了し、当市を訪れる観光客等にご利用いただいています。</p> <p>牛窓海遊文化館のエアコン修繕につい</p>

					<p>故障個所の応急修繕にとどめ、朝鮮通信使の世界記憶遺産登録もあったことから、エアコン修繕を含めた施設整備を再考します。</p>	<p>では、本年度、応急修繕を行い、今後エアコン修繕を含めた施設整備について再考します。</p>
--	--	--	--	--	---	--

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
10	訪日外国人の誘致 インバウンド対策に取り組むことにより、外国人観光客の増加を図ります。	吉井川流域 DMO、岡山県外国人受入協議会等、近隣自治体との連携事業の実施やインバウンドコーディネーターの設置により、外国人観光客の誘客に向けた取り組みを強化します。外国人観光客の入込客数の目標値を前年比 120%とします。 ※H28 外国人観光客数 ・刀剣博物館：1,970 人 ・宿泊施設：391 人	吉井川流域 DMO によるルーリズム エキスポの参加、岡山県との連携によるスタンプラリーの実施、フランス TV の誘致等の取り組みを進めています。また、インバウンドコーディネーターによる外国人観光客のスムーズな受入れについて体制整備を進めています。	インバウンド対策を中心に業務を行う吉井川流域 DMO も種々の検討がなされ、来年度の一般社団法人設立に向けて最終段階となっています。またインバウンドコーディネーターによる外国人観光客誘客促進のための海外メディアへの対応や PR を進め、刀剣を中心としたインバウンド向けの情報発信を充実させています。	吉井川流域 DMO は一般社団法人の設立に向け、最終段階を迎え、来年度の早い時期に設立できる見通しです。また、インバウンドコーディネーターによる海外メディアへの PR や、外国人観光客受入の体制整備も充実させることができました。 H29 外国人観光客数 ・刀剣博物館 1871 人 ・海遊文化館 125 人 ・宿泊施設 406 人